

# 湊小学校だより

令和5年9月5日  
白山市立湊小学校

## 令和5年度 学力調査の結果について

今年度の4月17日、18日に、例年行われている「県基礎学力調査」及び「全国学力・状況調査」が行われました。今年度は、

県基礎学力調査は 4年生の国語・算数、6年生の社会・理科・英語

全国学力・学習状況調査は 6年生の国語・算数

が実施されました。石川県は先日の報道でもありましたように、全国トップクラスの成績でした。今年度の本校の結果についてお知らせします。



### ■各教科の結果から

#### 【全学年共通の課題】

・用語、定義の定着（算数・理科・社会）

知らなければならない用語（理科の実験用具・実験方法の名前、社会の地名・国名、算数の定義「長方形とはどのような図形か」など）

・複数の資料を読み取って、書く。

・条件を踏まえて書く。（50～80字で書く、決められた言葉を入れて書く、など）

#### 【4年】

教科	課題	改善策
国語	・基礎基本（漢字の習熟、書き順、見出し語に直すこと） ・大事な言葉や文を見つける	・家庭学習や朝学習で繰り返し取り組み、定着を図る。 ・大事な言葉や文には印をつけるよう指導する。
算数	・分数の意味と表し方 ・長方形の定義を正しく書く、用語（直角）を正しく使う ・根拠を明らかにして、判断した理由を説明すること ・表の意味を理解した読み取り	・授業の中で、学習用語を丁寧に抑え、使用する。説明の際にも、用語を使い筋道立てた説明の見本を示し、話しきったり、書ききらせたりする。

#### 【6年】

教科	課題	改善策
国語	・同音異義語 ・情報を関連付けて、考えを書くこと ・条件作文で、適切な表現方法を使って書く	・意味と一緒に漢字を覚えるよう指導する。 ・授業や朝学習で複数資料の大事な言葉や文に印をつけてまとめる活動を行う。
算数	・基本の計算（ $50 \times 40$ ） ・式の意味をとらえること ・日常生活の問題場面を解釈し、問題解決をすること ・二次元表を読み取ること	・授業の中で、式を読む場面を取り入れ、説明させる。 ・表の中の数字が何を表しているのかを、具体的な数字を示しながら説明させる

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な理科学用語の理解(実験方法の名前・自然現象の名前)</li> <li>・天気図を基にした予想と表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で用語を日常的に使用する</li> <li>・まとめを書く際には,用語を正しく使って自分の力で書かせる。</li> <li>・資料から読み取れることを用語を使って表現させる</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縮尺から実際の距離をわりだすこと。</li> <li>・地図記号(史跡・名勝)</li> <li>・大陸の名前</li> <li>・複数資料や図から,理由を適切な表現で書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習や朝学習での繰り返し。</li> <li>・普段の授業の中で,複数の資料から読み取る経験を積み上げていく。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットを聞いて,大文字や小文字で書く</li> <li>・自分の誕生月の絵と綴りを見て4線に書き写す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4線を使って丁寧にアルファベットを書かせる。</li> </ul>

## ■質問紙調査:主な質問事項についての結果と分析・考察

### ①よい傾向が見られる項目

- ・「友達と話し合う時,友達の話や意見を最後まで聞いている。」
- ・「学校の宿題をしている。」
- ・「学校のきまりを守っている。」
- ・「いじめは,どんな理由があってもいけないことだと思う」
- ・「人の役に立つ人間になりたい」
- ・「友達関係に満足している」
- ・「学校に行くのは楽しい」
- ・「自分で課題を立てて情報を集めて整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



### ②改善していきたい主な項目

- ・「新聞やテレビのニュースに関心がある」
- ・「新聞を読んでいる」
- ・「将来の夢や目標を持っている」
- ・「読書が好き」
- ・「自分にはよいところがあると思う」
- ・「地域行事に参加している」

### ③分析 改善策

授業や学校生活のいろいろな場面で,子ども達に「めあて」や「見通し」を持たせて取りませ,自分でしっかり考えて行動したり,話し合っ活動したりすることを大切にしてきた。その結果,話し合い活動が定着し,好む児童が増えてきた。継続して続けていく。

「ふり返り」の場を大切にすることで,友達と頑張りやよさを認め合ったり自分の成長にも気づいたりすることができるようにしていき,認め合う場を作り,一人ひとりの「自己肯定感」を育てていく必要がある。

また,授業を中心とした教育活動全般で,最後までやり切る機会を設け,取り組んだ過程を認め,励まし,達成感を味わうことができるよう指導していく必要がある。